「平成30年度老人保健健康増進等事業」の採択について

厚生労働省が募集した標記補助金に応募したところ、下記の通り採択の内示がありました。

記

【事業名】

訪問・通所リハビリテーションのデータ収集システムの活用に関する調査研究事業

【事業実施目的】

厚生労働省が開発した「通所・訪問リハビリテーションのデータ収集システム（以下、VISIT）」は、リハビリテーションマネジメントに関わる計画書等の情報を収集し、分析した結果を利用者及び事業所へフィードバックし、その質の向上に寄与することを目的としたものであり、平成29年度から運用が開始されている。

本事業では、事業所及び利用者への VISIT データのフィードバック試案を作成した上で、VISIT データ提供協力事業所（訪問・通所リハビリテーション事業所）にて試行し、その有用性等を検証する。また、全国データの分析方法についての最終案の取りまとめと課題の整理を行う。

※通所・訪問リハビリテーションのデータ収集システム（VISIT）とは

高齢者に提供された介護サービスの内容や、そのサービスを受けた高齢の状態の変化などのデータを収集し、データベースを構築しようとするもの。構築されたデータベースを分析し、科学的に自立支援等の効果が裏付けられた介護サービスの実現を目指す。

【国庫補助内示額】

14,468,000円

【事業実施予定期間】

平成31年3月31日まで

【担当教員】

研究開発センター 川越雅弘教授ほか